



対のある自他動詞と文法を組み合わせた項目を用いたオンライン学習の解答傾向 —5週間のオンライン学習で用いた項目の分析を中心に—

沖本 与子(東京外国語大学)

1. 研究課題

1. 文法項目の基本統計量は、動詞項目の基本統計量と異なるのかを明らかにする
2. 文法項目は、どのような解答傾向を示すのかを明らかにする
3. 文法項目に対し、学習者は解答する際にどのような反応を示すのかを明らかにする

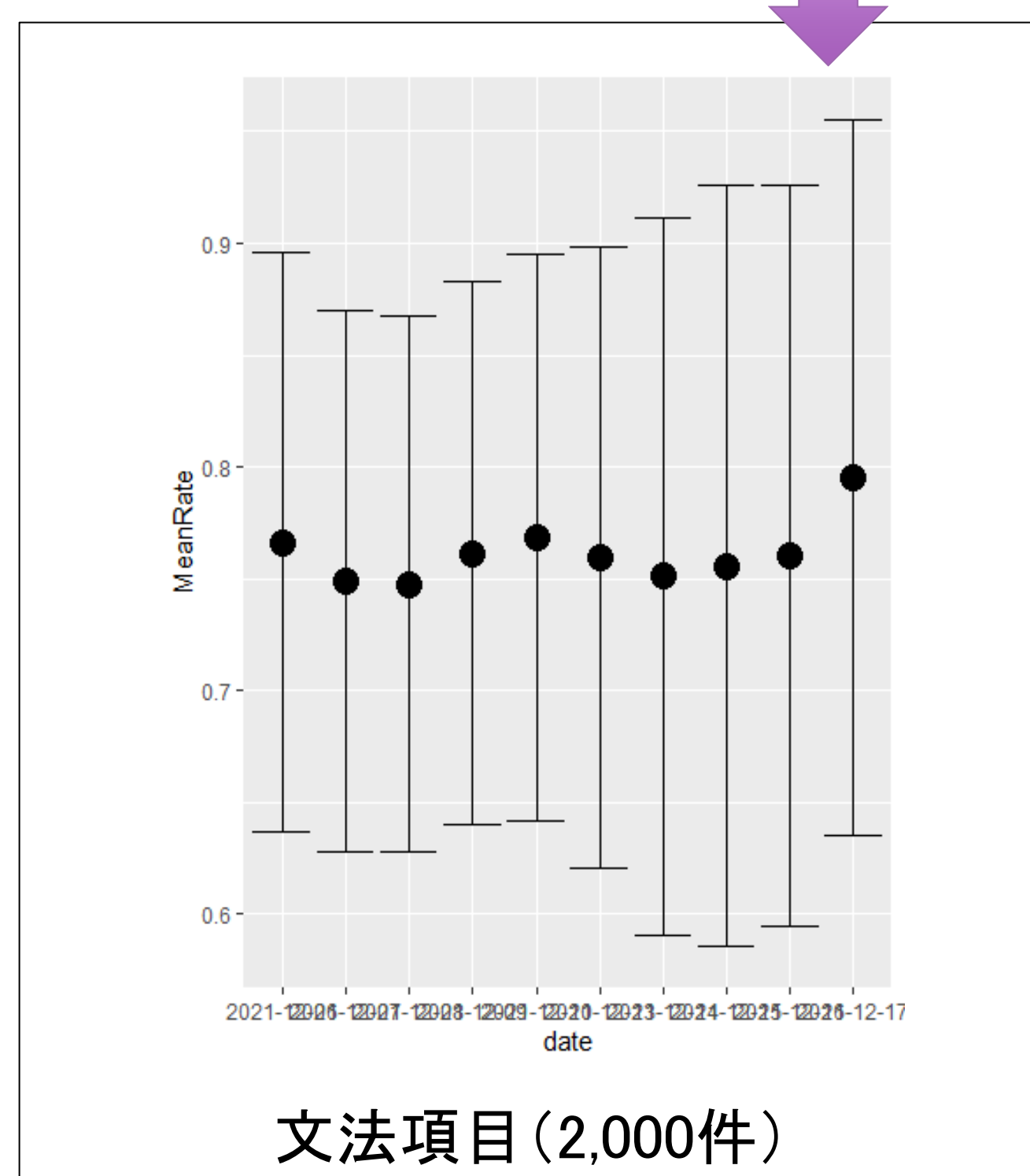
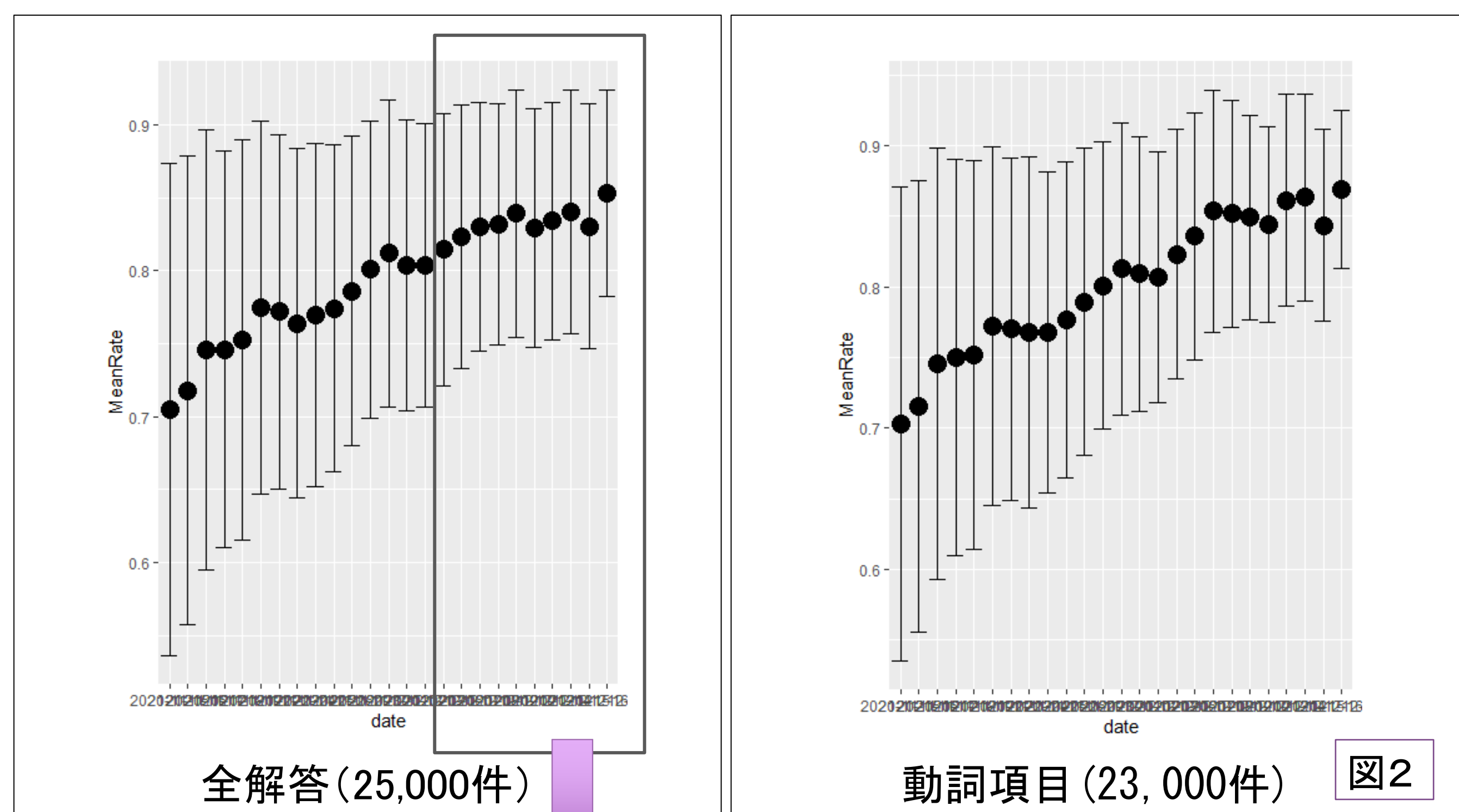
2. 使用言語資源(項目・設問設定)

- 使用言語資源
沖本(2021)で作成した項目を元に、名詞の重複がないように項目を作成
- 項目数 1250項目
初級から上級の対のある自他動詞を用いた項目 900
移動動詞を用いた項目 250
対のある自他動詞と初中級の文法を用いた項目 100
- 項目例(漢字にはフリガナを付ける)
動詞項目
例)上がる 成績(せいせき)が【 】。
雨(あめ)が【 】。
階段(かいだん)【 】
文法項目
例)あのビルの前(まえ)で車(くるま)【 】【 】ください。(ID979:N5)
- 出題数
第1~3週:初級・中級+移動動詞(2週)+上級(3週)(50項目/日)
第4~5週:動詞項目(40項目/日)+文法項目(10項目/日)

3. 調査概要・取得データ

1. 2021年11月15日から12月17日の5週間
中級レベルの日本語学習者20名
JLPT N1=10, N2=3, N3=4, N4=1, None=2
中国語=13, 韓国語=1, 英語=1, アジア=2, ヨーロッパ=3
2. 全25,000件の解答データ(50項目×5日×5週間×20名)
動詞項目 23,000件
文法項目 2,000件(10項目×5日×2週間×20名)
いずれも欠損値なし

4. 全体・動詞項目・文法項目の解答傾向

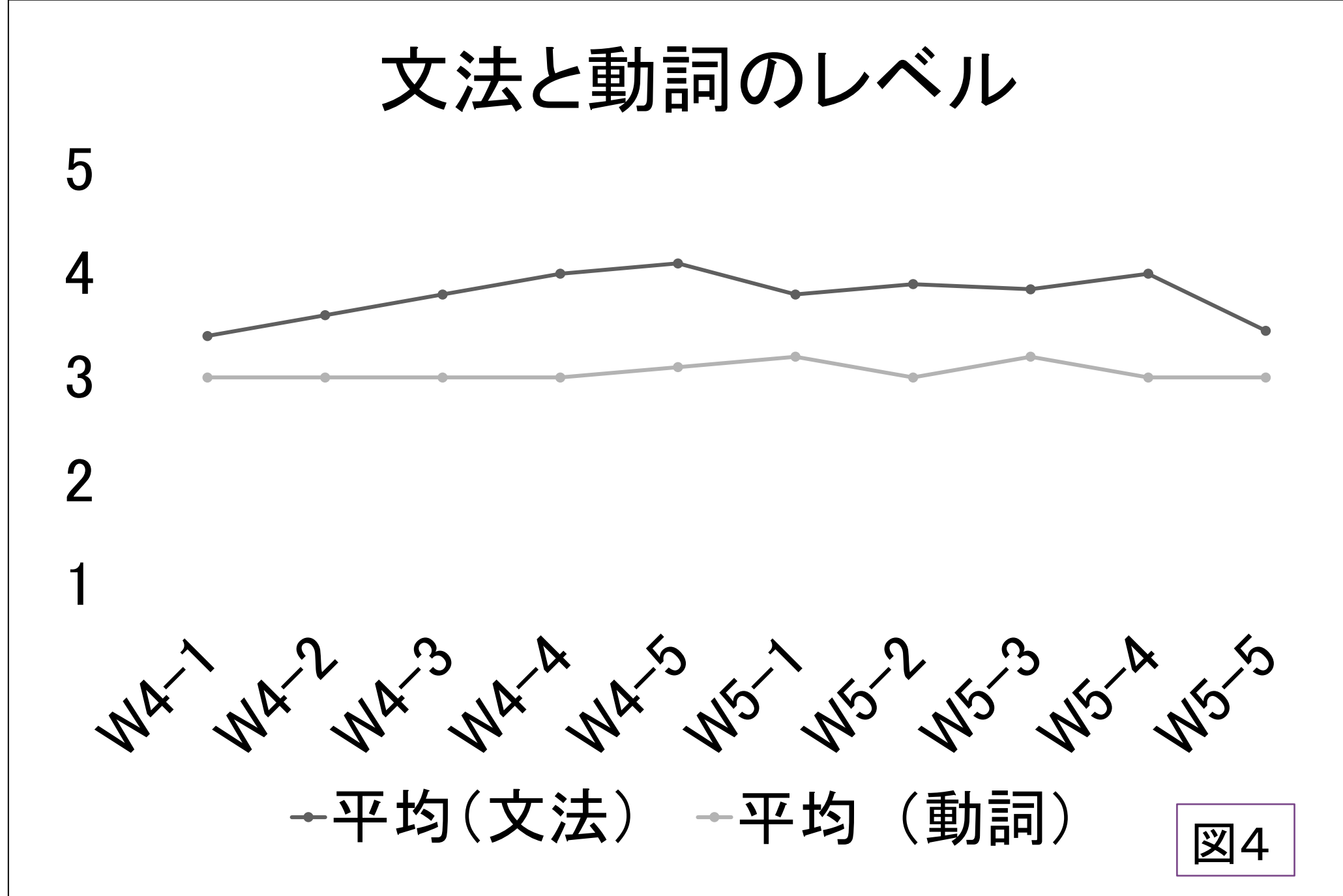


- 黒丸が正答率の平均であり、上下の線が標準偏差
- 全解答&動詞項目
正答率が上昇し、標準偏差が狭まり、ほぼ同じ傾向を示す
- 重複のない項目でも、正答率を上昇させることが確認された
- 文法項目
正答率は月曜日から金曜日の間に下降・上昇し、標準偏差は日を追うごとに広がった。

5. 文法項目の解答傾向

表4	動詞項目	文法項目	動詞項目と文法項目の基本統計量
受験者数(人)	20	20	動詞項目>文法項目(10倍以上)
解答数(件)	23,000	2,000	平均・標準偏差(SD)にあまり
平均	0.79	0.76	違いがない
SD	0.40	0.43	解答傾向が数値上の差異なし
中央値	1	1	↓↓↓
最小点	0	0	なぜ、文法項目で上下?
最大点	1	1	使用した項目の旧JLPTのレベルをグラフ化

Y軸(1~5):旧JLPT
X軸:日付
例:W4-1=第4週の1日目(=月曜日)
グラフが上昇するほど、より難易度が低く学習者にとって既習に当たるであろう項目が出題
↓↓↓
第4週(水):851-900
第5週(水):1101-1150
正答率:25%~40%を選出



6. インタビュー

- 動詞項目>文法項目
動詞だけの方が簡単でした/文が短い
- 選択肢⇒文全体(6人)
最初にparticle(助詞)とか、動詞だけを見ました
答え(選択肢)を見て意味が分かったら、文を読む
- 文全体⇒選択肢(2人)
文が長いから、分からないことばがあっても、分かるときがあった
何度も読み、そのうち分かる⇒選択肢を見る

7. まとめ・今後の課題

1. 動詞項目の解答数は文法項目の解答数の10倍以上になるが、平均・標準偏差(SD)ともに大きな違いがない=学習者の解答傾向が数値上の差異がない
2. グラフ上、文法項目は、全解答とも動詞項目とも推移が異なる
正答率は下降・上昇し、標準偏差は広がった
3. 学習者ごとに、文法項目への解答の仕方が異なる
【課題】文法項目の正答率が週内で下降・上昇する課題
明確な理由が判明しなかった
項目の順番を入れ替える、調査人数を増やすなどの変更

出題日	項目番号	項目 (学習時には漢字に読み仮名が付与してある)	正答率%	正答	最も多い誤答
W4-3	869	テーブルに、8人分のお皿が【 】あった。(4)	25	並べて(4)	並んで(4)
W4-3	870	遅い時間には、駅前の道を【 】ようにしている。(3)	20	通る(3)	通す(3)
W4-3	880	客を乗せた船が川【 】【 】いく。(4)	25	を下って(2)	が下ってに下って
W4-3	889	私の部屋は壁に時計【 】【 】ある。(4)	40	がかけて(4)	がかかって(4)にかけた
W5-3	1139	友達に貸した漫画【 】【 】こない。(4)	35	が返って(3)	を返して(4)
W5-3	1140	日本語がわからないときはいつも姉【 】【 】もらう。(4)	30	に助けて(2)	が助かって(2)
W5-3	1149	①アルバイトの面接と試験の日が【 】しまった。(4) ②大きい皿から順に【 】もらいたい。(4)&(5)	25	重なって(3) 重なって(2)	重ねて・重なって

謝辞:
本研究はJSPS科研費21K00633「日本語学習者と日本語教師のためのオンライン自他動詞習得支援システムの開発」(2021-2023)の助成を受けて行われたものである。
参考文献:
沖本与子(2021)「対のある自他動詞」の練習・学習を支援するシステムの開発—5週間のオンライン学習における効果—」『2021年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp.153-158. 日本語教育学会